

日本労働年鑑 第58集 1988年版  
The Labour Year Book of Japan 1988

第三部 労働組合の組織と運動

V 国際労働組合運動

2 国際労働組合の諸会議

3 TUAC関係の国際会議

TUAC第七八回総会

八七年三月二六～二七日、ベネチア・サミットに向けての労働組合声明を決定するためにOECD本部で開催された。加盟二六組織、国際組織、TUAC事務局から合計四六名が出席した。日本からは、総評の山田国際局長・田中光雄ヨーロッパ事務所長、同盟の柿沼靖紀政策室長、阿部国際局副部長、中立労連から藤野勝国際部長の五名が参加した。

TUAC時短専門家会議

八七年五月六～七日、開催された。総評の清水時短センター所長、同盟の佐藤調査局次長が出席した。

議題は、(1)労働時間についての最近の動き、(2)労働時間短縮政策の目標、(3)労働時間短縮の効果を評価するための基準、(4)労働時間短縮の方法と形態、(5)過去と現在の経験の評価であった。

TUAC運営委員会・七九回総会

八七年一二月三～四日、開催された。日本からは、「連合」の田中副会長、総評の山田国際局長が出席した。会議では懸案課題となっていたCGILの加盟問題を協議した。加盟賛成派が大勢を占めたが、CGILが共産党の影響力を強く受けていることを理由にAFL・CIO、CGT・FO、「連合」が加盟に難色を示した。この結果、この会議では結論を出さず、改めて協議することとした。

日本労働年鑑 第58集 1988年版

発行 1988年6月25日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

\*\*\*\*年\*\*月\*\*日公開開始

■←前のページ 日本労働年鑑 1988年版(第58集)【目次】次のページ→■  
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)